

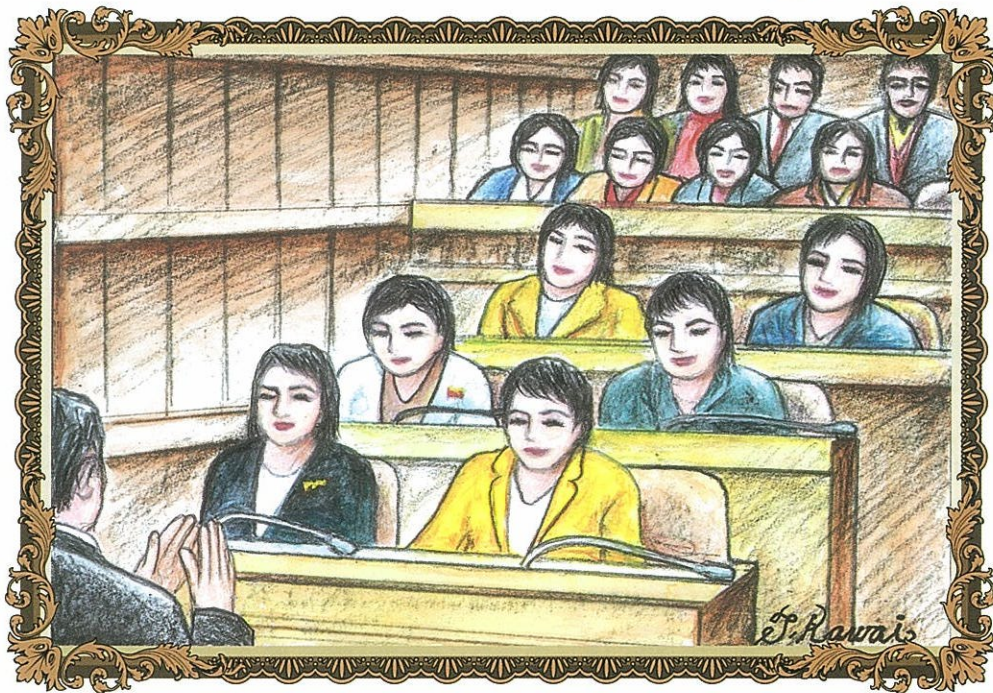
はーと・シップ

「はーと・シップ」はハートフルシティとパートナー・シップを合わせて小野市の男女共同参画を表す愛称としています。

特集

女性議会報告

女たちの熱き挑戦



昨年の国政での大きなニュースと言えば、「政権交代」がありました。みなさんも今まで以上に、政治に注目されたのではないかと思います。私たちの身近なところ、例えば市政にも目を向けてみませんか。

～小野市政編～
Q&A

- ① 小野市長の名前を知っていますか？
- ② 市議会議員の定員数を知っていますか？
- ③ 現在の女性議員数を知っていますか？

答えは特集の
中にあります。

エクラ・ハートフル・パーティー 12月19日(土)開催

前回の女性議会での提案を受け、開催している「エクラ・ハートフル・パーティー」。“出逢いの場”の提供というシンプルなコンセプトのもと、4回目となる今回は、オリジナルアロマスタンドづくりをメインにしたプログラムでの開催となりました。和やかな雰囲気の中、6組のカップルが誕生。パーティー前にコーディネーターから、相手を思いやる気持ちの大切さやコミュニケーション術などのアドバイスも受け、カップルが成立しなかった方々にも、今後に生かせる有意義な体験となったのではないのでしょうか。結婚するしないは個人の自由ですが、「自分も相手も大切な存在」であることを忘れずに、だれもがいきいきと自分らしく、素敵な時間を過ごせたらいいですね。



女たちの熱き挑戦

小野市では、女性の市政への関心を高め、まちづくり等に関する女性からの意見や提案を市政に反映させる目的で、平成13年から概ね4年に一度「女性議会」が行われています。女性がより一層、政策や方針決定の場への参画を推進するよい機会となっています。

平成21年11月10日、小野市役所5階の議場にて、**市議会定員数(18名)**を満たした19名の女性が参加し(以下、女性議員)、第3回「女性議会」が開催されました。各議員席にはハーブが飾られ、本議会と少し雰囲気の違いが感じられた議場になりました。

女性議員は、次の6つのグループに分かれて提案をしました。

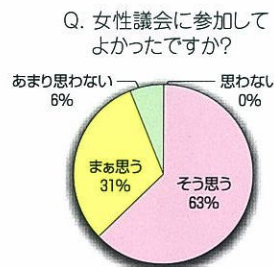
- ◆ 子育て支援
- ◆ 若者支援
- ◆ 障がい者支援
- ◆ 高齢者支援
- ◆ 防災啓発
- ◆ 地域活性化

それぞれのテーマについて、女性ならではの目線で、細やかで切実な意見が多く聞かれました。中には、市長の答弁に対して「YESかNOか、はっきりとお答え願います!」と迫る、本議会さながらの白熱した討論もありました。

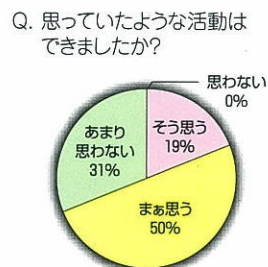
最後は、**蓬萊務**市長から、女性議員への感謝と「現在の小野市議会議員のうち、**女性はいません**が、次期はぜひ女性議員が誕生して欲しい」との激励の言葉で締めくくられました。

議会後のアンケートより

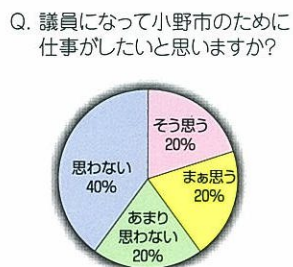
女性議員



- ・貴重な体験ができた
- ・市政の勉強になった

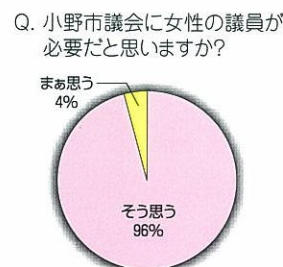


- ・予想以上の収穫を得た
- ・時間不足で思ったような活動ができなかった



- ・思いはある
- ・議員ではなく、別の立場で小野市に協力したい

傍聴者



- ・市政に女性の視点が必要
- ・複数が必要だと思う
- ・これを機に女性議員が誕生すればいいと思う

第2回 女性フェスティバル ～集う・つながる・創り出す～

平成21年12月5日(土) エクラにて
主催:小野市女性団体連絡会



今回は、女性議会を受けて尼崎市女性議員の須田和さんと小野市女性団体連絡会幹事長・小林千津子さんをパネラーに、ディスカッションが行われました。誰かにやってほしいと思っていることを人任せにせず、今、自分に何が出来るのかを考え、女性も自分で行動することが大切だと熱く語られました。パネルディスカッションの後は、加入団体による太鼓、舞踊、三味線のアトラクションがあり、その他うどんやハーブティーなどの販売、バルーンアートなどの遊びのブースも設けられ、最後は、お楽しみ抽選会で大いに盛り上がりました。女性パワーをひしひしと感じる女性フェスティバルでした。

女性議員のみなさんは、議会当日までの約3ヶ月間、市政の現状について市職員から説明を受けたり、他市の施設へ見学に行ったりと、勉強会を重ね、当日に備えました。

女性議員にインタビュー

4年に一度ではなく、もっと頻繁に女性議会を開催したら 市政について勉強する機会が増えていいと思う

高齢者問題について直接声を届ける事ができてよかったと思う

いざ本番になると言葉が出なかった

色々な人に出会えた

意見を言える場がもっとあればいいと思う

いい経験になった
いい刺激になった

市職員の対応が早く大変感謝しています

議会に興味を持ちました
定例会の傍聴に行きます

自分で行動する事の大切さを感じた

勉強をすることにより
小野市に興味を持って
これからも参画していきたい

子育てについては
女性目線と男性目線の
違いがまだまだあると思う



これで終わらず行政と市民のつながりを強くしていかなければならない

子育て中の若い母親の意見が行政に届くことは難しい

女性議員が必要だと思いました!!

市政に関心を持ち、地域活動等に積極的に参加する女性は確実に増えています。男女ともに市政に興味をもつことで、よりよく変化する小野市をつくりあげていくことができるのではないのでしょうか。「参加するって、どうやって?」と思われる方も少なくないと思いますが、まず、自分にできることから一歩踏み出してみませんか。

講座報告

生涯いきいきセミナー 「パートナーと一緒に」

- 平成21年 9月26日(土) ①「なぞの男性更年期」
- 10月 3日(土) ②「妻にありがとうの気持ちを伝える男の料理」
- 10月24日(土) ③「リタイア後の生活設計を見直す ～マネーあれこれ～」

人生の第2ステージを迎えられた方々が、これからの生活設計を見直し、心豊かに過ごすためのきっかけとなるように開催したセミナー。受講後には、「夫婦で参加して共通の話題ができました。」「はじめての料理で、作る苦労がわかった。」「孫と一緒に作ってみたい。」など、新しい知識を得たり、経験した喜びを感じられた方も多かったようです。



Heartful Partner

ハートフルパートナー

VOL.16

生涯いきいきセミナーにご夫婦で参加いただいた立岩道有・かつみご夫婦にお話を伺いました。



Q このセミナーに参加されたきっかけは？



よくエクラを利用していますが、チラシを見てタイトルに惹かれたのと、夫が料理好きなので夫を誘って参加しました。

Q 補い合って生活しているようですね。



最近私が腰を痛めた時も、夫が料理をしてくれました。料理ひとつでも助けてもらえるとありがたいです。感謝です。



自分も食べるのですから。

Q お料理好きということですが？



大家族の中で育ったので、子どものころから自分でおやつを作ったりしていましたし、体を痛めてスポーツをやめてから、いろいろと病気が見つかり、「食が大事だ」と料理に興味を持つようになりました。

Q お二人にとって男女共同参画とは？



助け合い感謝することで、楽しく過ごすことが出来ると思います。



それぞれのことをしながら、自然な形でお互いに参画できればと思います。

Q 普段はどの様に過ごされていますか？



体調を崩したのをきっかけに運転をやめたので妻の運転で買い物に出かけます。



健康管理もかねて二人でウォーキングを楽しんでいます。ガーデニングのボランティアもしていますが、夫のほうが詳しいので時には教えてもらいます。

「ボランティアは自分自身の勉強になります」(かつみさん)、「残りの人生を考えると今まで遣り残したことをやっていきたいと思います」(道有さん)
お互い助け合いながら、自分の時間も大切にされている素敵なお夫婦でした。

無料相談窓口案内

市外の相談窓口もご利用頂けます。

実施機関	種類	所在地	電話番号	実施日時
小野市男女共同参画センター	女性のためのさまざまな相談	小野市中島町72 小野市うるおい交流館 エクラ内	電話相談 (随時) 0794-63-8250	木曜日 9:30~11:30
			面接相談 (予約制) //	木曜日 13:00~16:00
			※託児ご希望の方は、ご相談ください。	
小野市民病院	女性のための医療専門相談	小野市中町323 小野市民病院内	面接相談 (予約制) 0794-63-2020	木曜日 13:30~16:00
小野市 ヒューマンライフグループ	いじめ等相談 (ONOHまわりほとライン)	小野市役所内	電話・面接相談 (随時) 0794-62-4110	月曜日~金曜日 9:00~17:00
三木市男女共同参画センター こらぼーよ	女性のための相談室	三木市福井1933-12 (教育センター3階)	電話相談 (直通) 0794-89-2354	火曜日10:00~12:00 木曜日13:00~16:00
			面接相談 (予約) 月~金 9時~17時受付 0794-89-2331	火曜日13:00~16:00 木曜日10:00~12:00
兵庫県立男女共同参画センター	女性のための悩みの相談	神戸市中央区 東川崎町1-1-3 (神戸クスタルタワー7階)	電話相談 078-360-8551	月~土曜日 9:30~16:30
	男性のための相談		電話相談 078-360-8553	第3火曜日 17:00~20:00
	不妊専門相談		電話相談 078-360-1388	第1・3・4土曜日 10:00~16:00
※詳しくは、078-360-8550へお問い合わせください。				
兵庫県立女性家庭センター (配偶者暴力相談支援センター)	電話相談	—	電話相談 (随時) 078-732-7700	毎日 9:00~21:00
日本司法支援センター (法テラス)	法的トラブルに関する情報提供	—	電話番号 0570-078374	平日 9:00~21:00 土曜日 9:00~17:00

本誌に対するみなさまの率直なご意見やご感想をお聞かせください。
ハガキ、ファックス、Eメールで受付しています。

■事務局 小野市男女共同参画センター (NPO 法人 北播磨市民活動支援センター)
〒675-1366 兵庫県小野市中島町72番地 小野市うるおい交流館エクラ
TEL 0794-62-6765 FAX 0794-62-2400
URL <http://www.ksks-arche.jp/danjo/> E-mail: danjo@ksks-arche.jp

相談室より

「殴る、蹴る」だけがDV?

女性のための相談では、「夫との間がうまくいかない」「夫婦喧嘩がたえない」などの悩みやDVの問題など、夫婦に関する相談が少なくありません。

「大したことではないのですが…」と言われる場合でも、詳しくお聴きすると、「お前が悪い」「ばかだ」と言われ続けていたり、自由になるお金を持たせてもらえない、行動を細かくチェックされるなど精神的・経済的・社会的暴力がひそんでいることもあります。

また、以前に殴られたりクビをしめられたりしたことがあるため、夫を怒らせないよう常に気を使っているというようなケースもあります。これらは、身体的暴力こそありませんが全てDVです。

しかし、どちらかが一方的な力を持ち、他方を支配する関係の中では、なかなかDVを受けていることに気づきにくいのも事実です。何かおかしいと感じられたときは、どうか一人で悩まずご相談ください。